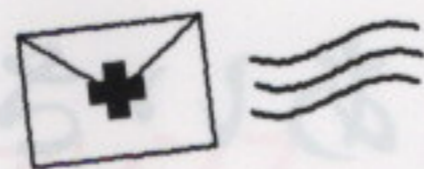


ほっと・クロス

vol.64

2022.6.30

かなざわ日赤ニュース



金沢赤十字病院



令和4年度 新人研修の集合写真

今年も新しい仲間が加わりました!

未来を担う、新入職員!

令和4年4月、今年も新たに総勢38人の新人職員が入社しました。
赤十字職員としての誇りとやりがいを持ち、地域の健康づくりに貢献できるよう
がんばりますので、よろしくお願いいたします。

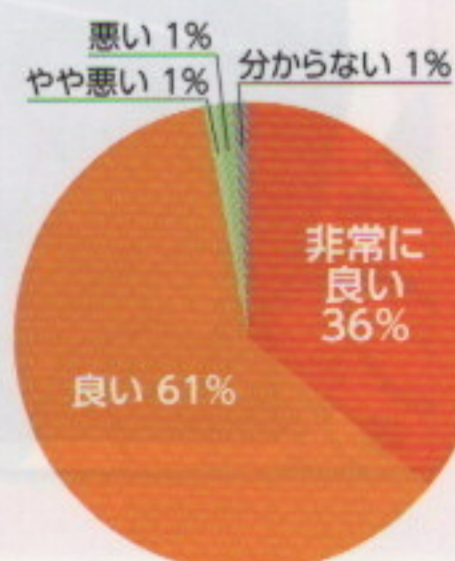
Topics

- 新年度ごあいさつ 院長 寺崎修一
- 新任医師紹介
- 患者満足度調査報告
- イベント・活動報告
- ほっと♥レシピ

令和3年度

患者さん満足度調査報告

今年も協力ありがとうございました。
詳細は4ページをご覧ください。



当院に対する満足度

新年度ごあいさつ

院長 寺崎 修一

COVID-19第6波が高止まるなか令和4年の春を迎えました。オミクロン株は重症化率は低いものの感染力が強く、引き続き、マスク、手洗い、三密回避などの感染対策が大切です。社会では経済活動の両立が重視され一部は緩和されていますが、病院は抵抗力の弱い高齢患者が多く、院内クラスターを防ぐため気を弛めることなく感染予防対策に取り組み続けております。



さて、1年前の春に院長に就任し、理念を改めました。『思いやりの心をもって、信頼される医療を提供し、地域に貢献します』、職員一同この思いを胸に日々の診療に取り組んでおります。

地域に貢献する方法は多様です。COVID-19感染患者の診療や入院患者を受け入れること、ワクチン接種を担うこともその一つです。しかし、もっとも本質的なことは、この地域の拠点(ハブ)病院としての役割を果たすことだと考えています。住民のみなさん、地域の診療所、医療従事者のみなさんから信頼され、困ったときの最後の砦(とりで)病院であることです。

今年度はより一層の地域連携を推し進めたく、『地域連携の行動指針10ヶ条』を策定しました。キーワードの一つに『二人主治医制』があります。病状が安定していたり、風邪症状などの軽度の症状では、かかりつけ医を受診していただき、当院は、体調悪化時のバックアップ、病院でしか行えない検査、治療、入院などを担当し、当院も主治医であり続けるという考え方を実践しています。

医療は人と人との関わりが中心であることは今後も変わることはありませんが、今後、医療のデジタル化を活用することで、より機能的な地域ネットワークが進んでいくと予想されます。患者さんにもメリットが多くあります。患者さんの同意のもと、当院の電子カルテの記載内容を他の医療機関の医師が閲覧することができ、逆もしかりで、紹介や転院時には他病院での検査結果などを診療に活用しています。このような技術の進歩に遅れることなく、これからも地域医療に貢献していきたいと考えています。

今年度もどうかよろしくお願いいたします。



NEW FACE!
新任医師紹介
当院に新しく赴任した医師を紹介します!

内科



腎臓内科
第一内科副部長
山本 康隆
やまもと やすたか

腎臓・透析・膠原病の専門ですが、内科全般で地域の医療に貢献していきたいと思っております。



消化器内科
消化器科副部長
須田 烈史
すだ つよし

胆膵疾患と胆膵内視鏡を専門としております。お困りのことがありましたらお気軽にご相談ください。



消化器内科
稲垣 聡子
いながき さとこ

丁寧な診療と分かりやすい説明を心がけます。よろしく願い致します。



消化器内科
杉本 宰甫
すぎもと さいほ

一生懸命がんばります。よろしくお願ひします。

整形外科



内分泌・代謝内科
佐藤 健太郎
さとう けんたろう

糖尿病・内分泌の専門です。地域に貢献できるようにがんばります。



整形外科
齋藤 美希乃
さいとう みきの

体育会系です。愛嬌、挨拶、フットワークを武器に頑張ります。

令和3年度

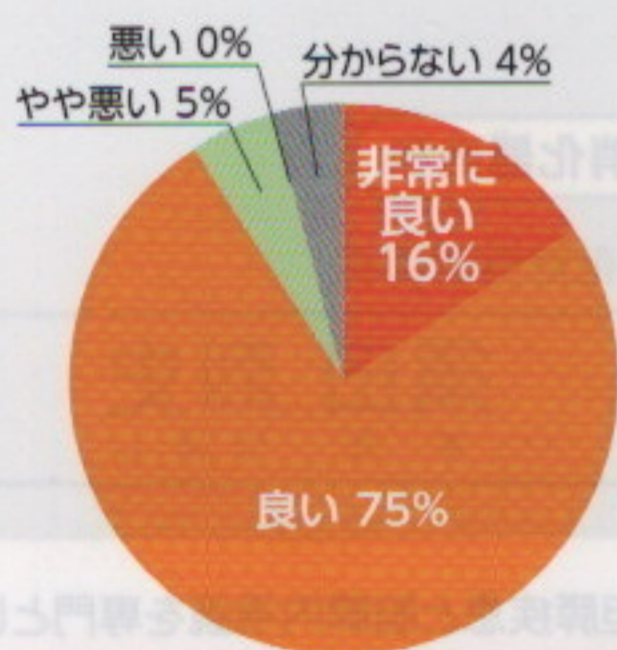
患者さん満足度調査報告

外来患者さん対象

令和4年2月14日～18日にかけて、患者さん満足度調査を実施しました。多くの患者さんにご協力いただいたので、その結果をご報告致します。

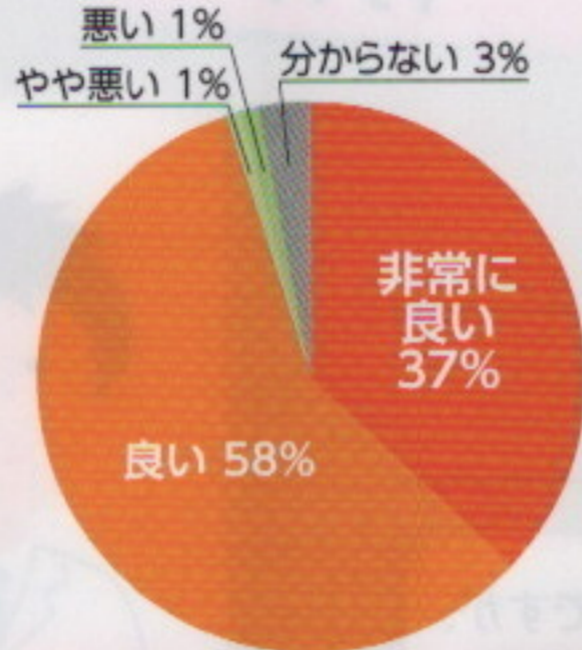
すべての項目で「非常に良い」「良い」の合計が**90%**を超えましたが、患者さんにご満足いただけるよう引き続き努力してまいります。

Q 中央受付の対応



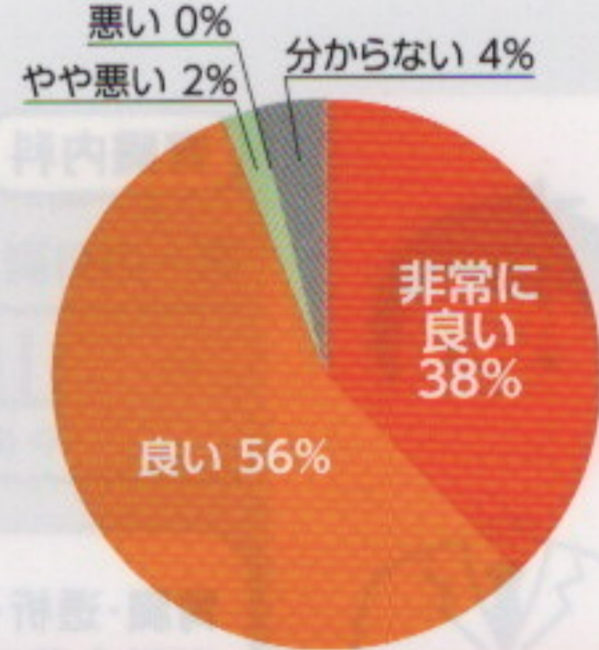
非常に良いまたは良いの評価は
令和1年度 **90%** 令和2年度 **96%**

Q 医師からの治療内容や経過の説明



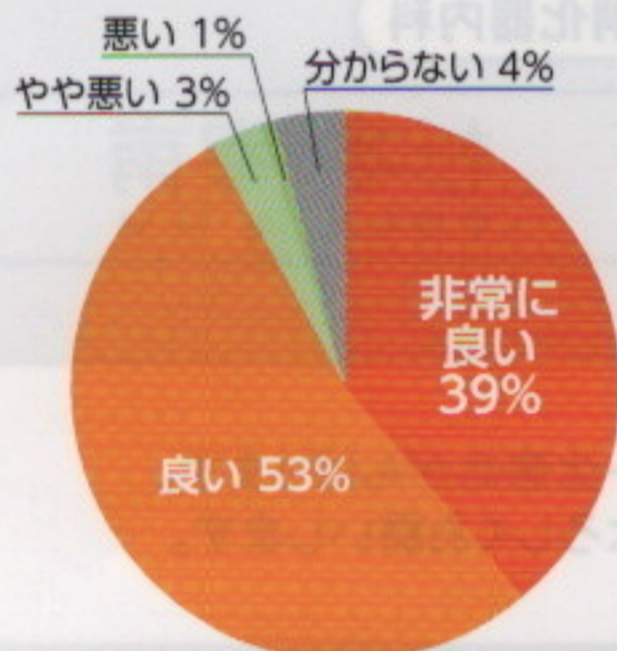
非常に良いまたは良いの評価は
令和1年度 **95%** 令和2年度 **95%**

Q 治療に対する安心度



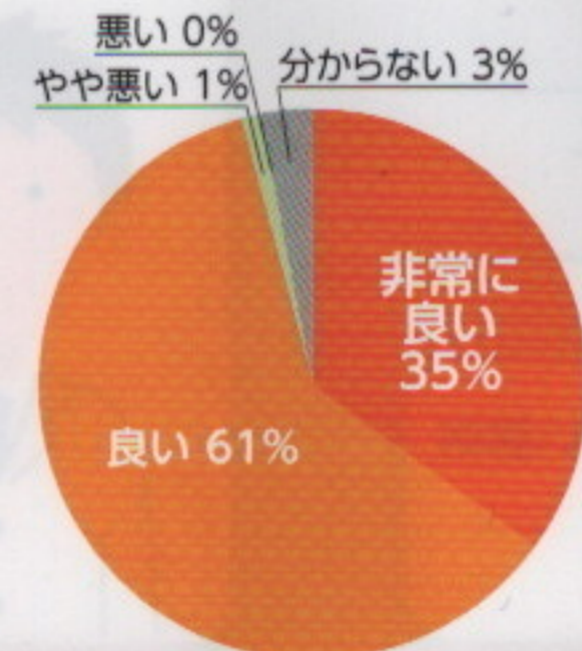
非常に良いまたは良いの評価は
令和1年度 **92%** 令和2年度 **95%**

Q 医師や看護師への相談・質問のしやすさ



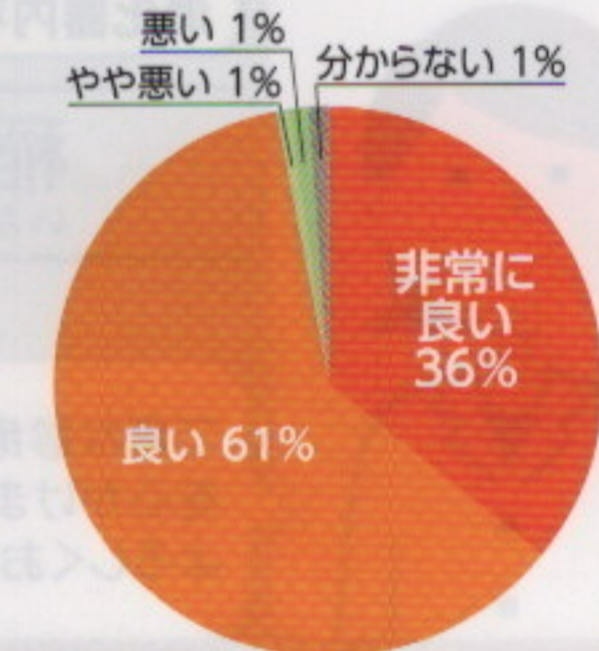
非常に良いまたは良いの評価は
令和1年度 **91%** 令和2年度 **91%**

Q 職員の言葉づかい、みだしなみ



非常に良いまたは良いの評価は
令和1年度 **94%** 令和2年度 **98%**

Q 当院に対する満足度



非常に良いまたは良いの評価は
令和1年度 **97%** 令和2年度 **96%**

患者さんからの声 (自由記載コメントより)

- 皆様親切に接して下さり、いつも感謝しております。ありがとうございます。
- 入院の際、医師や看護師の方の対応が素晴らしい。
- 非常によくしていただいています。コロナで大変ですが、いつもありがとうございます。
- 非アルコールの消毒剤があると嬉しい。
- 駐車スペースが少ない。

今後、皆様からのご意見をもとに重要性、可能性を検討し、できることから改善をすすめてまいりたいと思います。また日常でもお気づきの点がございましたら、より良い病院づくりのためにアドバイスをいただければ幸いです。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

サービス向上委員会

イベント・活動報告

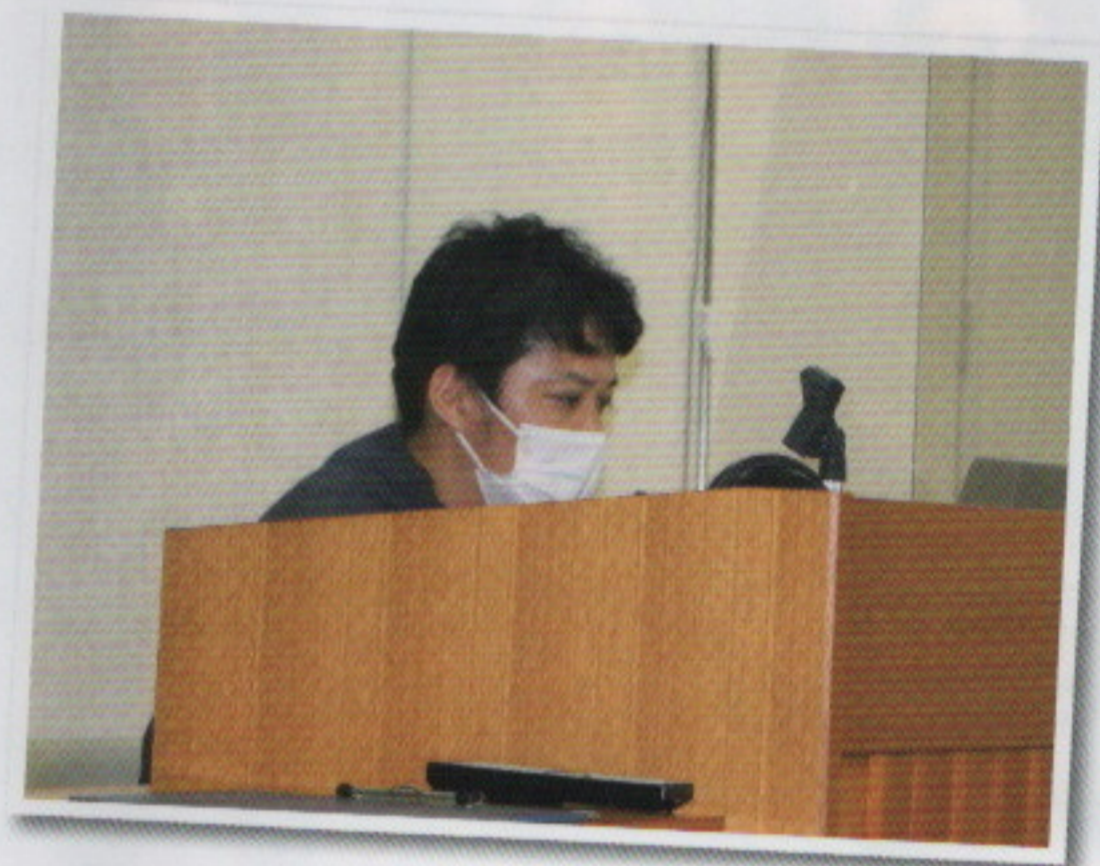
5月13日

再始動後 2 回目の
オープン・クリニカルカンファレンス



コロナ禍において2回目となるオープン・クリニカルカンファレンスを5月13日に開催しました。2回目のハイブリッド開催(会場+オンライン)となり、地域の医療機関の先生方を中心におよそ40名に参加いただきました。

東第三外科部長のレクチャーでは、「当院における急性胆嚢炎の手術治療」と題し、新しくなったガイドラインをもとに急性胆嚢炎の手術治療と当院の現状について話され、さらに症例を提示しながら早期腹腔鏡手術の取組みについて動画が紹介されました。



喜多第四内科部長によるレクチャーでは、「糖尿病治療brush up」と題して、糖尿病治療における最新のガイドラインの説明とともに、最近の治療薬とその使い分け、副作用と対処などについて具体的に話され、加えて地域の病診連携パスの紹介が行われました。



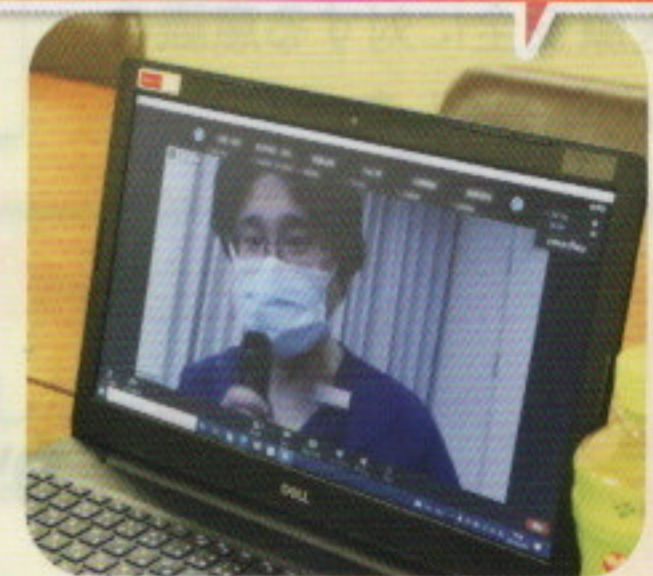
ご参加いただきました先生方、ありがとうございました。



ハイブリッド会議とは？

今回のオープン・クリニカルカンファレンスは、会場室での会議とオンライン会議をあわせて行うハイブリッド会議の形式で行いました。どちらかの方式で行う会議と比べて、音響や映像機器の設定が複雑になるだけでなく、講演者も会場とオンライン双方の参加者のことを考えながら分かりやすく説明することが重要になりますが、参加者にとっては選択肢が広がります。より多くの方に参加いただけるのではと期待しています。

参加された先生方からこのように見えます



栄養課考案!

ほっと・レシピ

初夏のプチトマトゼリー



1人分 エネルギー 20kcal
たんぱく質 0.9g
脂質 0.0g 塩分 0.7g

材料 (6個分)

- ・ゼラチン..... 5g
- ・水 (お湯) 250g
- ・プチトマト..... 6個
- ・砂糖 (お好みで)

【梅ソース】

- ・梅干しもしくは梅肉... 20g(約3個)
- ・水..... 20g
- ・酒..... 20g
- ・みりん..... 20g

作り方

- ①プチトマトを湯むきする (皮をむく)。
- ②湯むきしたプチトマトを器に入れ、お湯で溶かしたゼラチンを流し入れ、冷蔵庫で冷やし固める。
※お好みでゼラチンに砂糖を加え、甘味をプラスしてもよい。
- ③梅ソースを作る。
梅干しを包丁で細かくし、水、酒、みりんと混ぜ、ひと煮立ちさせ、冷ます。
- ④固まったゼリーに梅ソースをかけて完成。

アレンジ!!

今回のプチトマトは赤色、黄色などを使用し、色鮮やかに仕上げています。
プチトマトの代わりに季節のフルーツを使っても色鮮やかなゼリーが作れます。
※パイナップル、パパイア、いちじく、キウイフルーツは酵素の働きによりゼラチンが固まらないので、他の果物を選んでください。

お知らせ

医療安全月間

当院では日頃より医療安全推進活動に取り組んでいますが、例年5月を医療安全月間と定め、医療安全推進活動を強化して取り組んでいます。

今年度はチーム医療をテーマとして掲げ、職員間における報告・連絡・相談や確認行為の重要性を啓蒙することなどにより、職員全員が医療安全に対する意識の向上に取り組ましました。

2022年度

チーム医療

遠慮せず
焦らず確認
もう一度

+ 日本赤十字社 金沢赤十字病院
Japanese Red Cross Society 医療安全推進室

編集後記

広報・情報宣伝委員会 谷内

暖かく爽やかな季節を迎え、出かける機会が増えてくると思います。もちろん各々が感染対策には気を付けているものと思いますが、海外からはマスクをしないで外出している報道がよくみられます。日本人の性格上、マスク生活からの離脱にはまだまだ時間がかかりそうですが、これからの暑い時期を迎えるまでに少しでも議論が進んでほしいものです。

